

〔番外編〕森島恒吉先生の恋愛相談

於：神奈川集会

若い女性のための恋愛相談〔基本編〕

若い女性向けの恋愛相談をまとめました。

肉体人間には分からなくても、守護霊はすべてをお見通しです。自分の守護霊に嫌われないと同時に相手の守護霊にも嫌われないようにすることが恋愛成就の秘訣です。守護霊の働きについては、五井先生だけでなく、霊能者の宜保愛子さんもまったく同様のことを教えています。宜保愛子さんには私は直接お目にかかったことがあります、良い方でした。

（1）守護霊さまに「結婚相手を探して下さい」とお願いする

五井先生が教えて下さった祈り方は次の通りです。

「守護霊さま、私の天命が完うできますように善き配偶者をお与え下さい」

もっと短い方がよければ、このような祈り方でも通じます。

「守護霊さま、私にぴったりの男性と結婚できますように」

この祈りは、一回だけでなく、毎日祈り続けることが必要です。

（2）前の彼から貰ったプレゼント類はすべて処分する

これは当然なことで、教える必要もないほど常識的なことなのですが、現代の女性は本心のひびきに鈍感になってしまっているのです、こんな細かい注意をしなくてはなりません。

前に交際した男性から貰った指輪、イヤリング、ネックレス、バッグ、スカーフ、洋服、靴、下着を身につけて新しい男性とデートしてはいけません。デートする相手の守護霊は直ぐに察知して、「まだ前の男に未練があるのか。こんな女と子孫を交際させるわけにはいかない」とご機嫌をそこねて、新しい男性との恋を壊されることがあります。前の彼との写真、手紙、置物、ぬいぐるみなどはすべて捨てて下さい。また、洋服や宝飾品は、他人に上げるのは構いませんが、妹さんのような身内の人には上げてはいけません。身内とは関係のない他人に上げるか、質屋さんに流してしまい、現金に換えて自分の好きな物を買ったらよいのです。

（3）不倫の恋から結婚しても幸せにはなれず、一生後悔することになる

美しい女優を主人公にして不倫を描いたドラマを見ておきますと、不倫をすることに罪悪感を持たなくなったり、女優と自分を重ね合わせて、不倫をしている自分に酔っている

若い女性がいるものです。しかし、不倫をしますと、あなたの守護霊さんは、その行為を嫌ってあなたを見放しますし、妻子から男性を奪えば、その妻子から怨まれることとなります。不倫をしている男性の立場になれば、「こんな女なら、妻と二股かけてもやってゆけそうだ」とあなたを甘く見ているわけです。その男性があなたに誠実か誠実でないかを見極めたかったら、次のように彼に話してみる事です。

「奥さんと別れて今すぐに私と結婚して！」と毅然とした態度であなたが臨めば、遊びのつमりの男性ならば、「今の妻と離婚するつもりはない」とか「今すぐに君と結婚することはできない」と答えて去ってゆきます。あなたにとってはどんなに好きな男性であっても、今ここで不倫の縁を断ち切らないと、日陰の愛人として暮らしてゆくことになり、一生後悔することになります。たとえあなたが妻子から好きな男性を奪い、結婚できたとしても、その陰で相手の家庭が崩壊し、妻子が泣くことになるのですから、そうした怨念を背負って、あなたが幸福な結婚を築けるはずがありません。あなたの子や孫が結婚した後に、あなたがやったように愛人に結婚を引き裂かれるという報いを受けることにもなります。

(4) 玉の輿に乗りたいと思っているあなたへ

守護霊さんをお願いしていれば、もっとも釣り合いの取れた男性と結婚できるようになります。表面的には会社の社長で大金持ちに見えても、銀行からの借金経営で、将来はその会社の事業がうまくゆかなくなって莫大な負債を抱えるようになるかも知れません。逆に今は貧乏な男でも、十年後には大金持ちになって、妻としてのあなたの苦勞がいつべんに報われるかも知れません。ですから、玉の輿に乗りたい気持ちは分かりますが、お金お金とお金に目が眩んでしまうと、却って人に騙されたり、その人の本質的な性格や相性を見失ってしまって後悔することにもなりかねません。表面的な財産に目を奪われずに、自分の本心を見つめて、自分の本当に好きな男性を選ぶことです。

(5) 優柔不断の彼とはきっぱり別れて新しい男性を見つけよう

彼があなたに「君を一番愛している」と口先で言っていたとしても、数年たっても一度も「結婚しよう」と言わないのは、彼にはあなたと結婚する誠実な気持ちはなく、肉体関係だけを求めているのです。そうした優柔不断で不誠実な男性とはきっぱりと別れるべきです。守護霊さまに祈っていれば、もっと誠実で素敵な男性と巡り会うことができます。よい結婚相手を見つけてもらうように守護霊さまに祈り、感謝し続けてゆくことが幸福な結婚の秘訣です。守護霊さんの霊力を信じて下さい。

あなたに素敵な結婚相手が現れますように
あなたに守護霊さまのご加護がありますように
あなたの天命が完うされますように

若い女性のための恋愛相談 [左手薬指のリング編]

女性の右手の薬指にリングをつける時は婚約した時、左手の薬指にリングをつけるのは結婚した時という習慣が、欧米では長年の習慣としてあります。その欧米の習慣が日本にも入ってきたのですが、最近の若い女性の中には、そうした習慣を無視して、婚約も結婚もしていないのに、ボーイフレンドから貰ったリングを左手の薬指につける女性がいるようです。

しかし、長い習慣というのは人類の潜在意識に蓄積されているのですから、左手薬指にリングをつけると、自分はそうは思っていないくとも、他人の多くの人々の潜在意識にある「もう結婚する必要はない」という業想念の力が働いて、まともな結婚ができなくなるのです。これはちょうど日本にある「大安吉日」の暦の問題と同じなのです。多くの人々が長い間習慣としていることは、初めは迷信であっても、業想念の力が生じてくるのです。この業想念の力は習慣として人類の潜在意識層に深く積み重なっていて、簡単にその力を超えられるほど、そんな甘い力ではないのです。欧米でのリングの習慣は、二人だけの問題ではなく、社会の秩序を守っている面もあるのですから、遊びで軽々しく左手の薬指にリングをつけるものではありません。

結婚する気持ちもないのに、「結婚する」という口約束をして、リングを女性の左手薬指につけさせて他の男性との交際を断ち切れさせ、自分専用の女として肉体関係を結び、さんざん弄んだ上に最後には捨てるという男性が現実には多いのですから、結婚届けを役所に提出するまでは左手薬指にリングをつけてはいけません。左手薬指にリングを早くつけたかったら、恋人の彼に早く結婚届けのサインと印鑑を押してもらいなさい。五分もあればできることです。それをためらっている彼ならば、遊びであって結婚する気のない証拠なのですから、さっさと早く別れて、新しい誠実な男性を見つけることです。

「森島先生はうるさいなあ」と若い女性たちから文句を言われそうですが、私はあなたたちに幸せになってほしいのです。私の助言は守護霊さんの助言でもあるのです。恋愛や結婚は、業想念の力で壊されたり、倫理観の強い守護霊の力によって壊されることが多いのですから、守護霊の声に素直に耳を傾けて行動してほしいものです。若い時の一時の見栄のために一生を後悔しないようになさって下さい。

あなたが幸せでありますように

前の彼からの贈り物は身内に上げてはいけない

前の彼から貰った贈り物の処分方法ですが、身内のお姉さんや妹さんへ上げるのは、惜しいと思うかも知れませんが、残念ながら駄目です。あなたから妹さんに上げてはいけませんし、妹さんから貰ってもいけません。こうした貴金属類にこそ執着念（生霊、イキリ

ヨウとも言います) がこもりやすいのです。贈った彼が忘れていても、指輪にこもった執着念が一つの生物のように一人歩きして、あなたや妹さんの新しい恋を邪魔するからです。

たとえばストーカーが好きな女性にふられた腹いせに、その女性の家に押しかけて、彼女が留守なのに、ちょうどその時その家にいた家族を皆殺しにして火をつけたという事件があります。彼女にふられた男は、その原因が彼女一人にあるのではなく、彼女の家族の反対にあったと想像するわけです。彼女を憎く思うと同時に、彼女の家族をも憎く思うわけです。その事件を霊的に見ますと、事件の原因は、彼女が前に付き合っていた別の彼からの贈り物を部屋にたくさん置きっぱなしにしていたからなのです。一人の男性の執着念だけでなく、複数の男性の執着念が溜まりに溜まって、ガス爆発のように一瞬に火をつけたのです。ですから、別れた前の彼からの贈り物を身内に上げるのは止めて下さい。彼とは全然関係のない女性に上げるならば、それは無害になるのです。

前の彼から貰ったカルチェのラブリングも香水も、身内に上げたり、身内から貰ったりしてはいけません。妹さんと指輪を交換してはいけません。彼とは全然関係のないお友だちに上げるか、処分しなければなりません。香水は、もったいなくても簡単に流して捨てることができます。過去の彼の未練に執着して新しい恋が次々と壊されてゆくのを見るよりも、少しの辛抱でほんものの恋を見つけた方が得でしょう？ 前の彼から貰った指輪を付けて一生結婚できなかつたら、一生を後悔しますでしょうか？

相手の男性の守護霊さんは、あなたの洋服から持ち物から指にはめた指輪まで、すべて観察しているのです。その指輪が妹さんから譲ってもらった指輪であっても、その指輪にこめられた執着念を嫌って、その恋を壊してしまうのです。あなたに新しい恋人ができた時、あなたの指に何も指輪がついていなければ、新しい彼は無意識のうちにあなたを信頼するでしょう。もしデートの時あなたの指に前の彼の指輪がついていると、表面では気がつかなくても、無意識のうちにあなたを疑い、新しい恋が壊れてしまうことになりかねません。

そういうわけで、貴金属類は無闇に貰ってはいけません。結婚してから、一番愛する彼から指輪でも香水でも買ってもらうことです。もう少しの辛抱ではありませんか。それまでは、ご両親におねだりして買ってもらうか、自分の給料の範囲内で安い指輪を買って、それで我慢することです。

あなたに素敵な男性が現れますように
あなたの天命が完うされますように
あなたに守護霊さまのご加護がありますように

物にまつわる因縁の浄め方

貴金属類で、どうしても捨てるのに惜しいというのならば、貴金属専門店の職人さんに頼んで、指輪の形をまったく別の形の指輪に変えてもらうことです。原型を留めては駄目です。形を変えること、職人さんの手を経ることによって、自然に除霊され、霊障が起きる心配はなくなります。

五井先生は、物に宿る霊障を重視しておりまして、子供が「このバットが人をぶたないようにお浄めして下さい」と持ってきた野球のバットも、ていねいに拍手を打ってお浄めされたものです。物にまつわる因縁霊、土地にまつわる因縁霊などは、軽々しく無視できるものではありません。村田正雄氏が新居を建てた時にも、五井先生は村田氏の新居に出向き、家の中をお浄めされましたし、市川に住んでいた昔の信者さんは、自宅の中を村田氏にお浄めしていただいたものです。しかし、普通の人物が物をお浄めするのは無理なので、因縁のこもった物は捨てた方が簡単、ということなのです。

贈り物で男に遊ばれないために

そうそう、言い忘れていましたが、もしこれから現れる新しい恋人が、あなたに「指輪を贈りたい」と言ってきたら、このように返事することです。

「あなたのお気持ち、とっても嬉しいわ。ありがとう。でも私、指輪で男の人に遊ばれたくないの。もしあなたが私を本当に愛して下さっているならば、私と結婚して…」

【男性編】女性に好かれるためのデートマナー

「若い女性のための恋愛相談」が非常に好評で喜ばれ、「男性編も書いてほしい」というご要望がありましたので、まず常識の「女性に好かれるためのデートマナー」を書くことにします。

(1) 身嗜みに気を配る

お風呂に毎日入らない男性がいますが、不潔な男性は女性に嫌われます。清潔感が第一です。デートの前には理髪店に行き、髪を整え、当日の朝は髭をいつもよりも念入りにきれいに剃ります。鼻毛を伸ばし放題しているような無神経な男性は嫌われるのは当然です。デートの日は、当然清潔な下着に清潔なワイシャツを着ます。靴をきれいに磨きます。スーツの場合は、スーツの色とネクタイを同系色に合わせ、3色以上のけばけばしい服装をしないようにします。

(2) 食事のマナーに気を配る

食事中、会話に気を取られてナイフやフォークを大きく振り回してはいけません。私の知人のスチュワーデスが離婚した原因は、「彼の食べ方が下品だったの。口をクチャクチャと音を立てて食べるのが私にはどうにも耐えられなかった」と話していました。また、いくら他の友人にけしかけられても、日本酒をどんぶりで一気に飲みして彼女の前で吐くことのないように、お酒の飲み過ぎにはくれぐれも気をつけましょう。また、若い男性にありがちですが、椅子に腰かけた時、股を大きく広げて坐るのは、不良少年のように下品に見えますから止めましょう。

(3) レディファーストに徹する

歩道を歩く時には車道側を自分が歩き、車から彼女を守る位置に立つ。上りのエスカレーターに乗る時は彼女を先に行かせ、下りのエスカレーターに乗る時は、自分が先に乗って、彼女が落ちないように自分が支える位置に行く。このように常に彼女を守ろうとする配慮をすることが必要です。彼女の歩調に合わせず、自分の歩調で早足で歩くのは論外です。女性は踵の高い靴をはくことが多いので、彼女の歩調に合わせてゆっくり歩きましょう。

(4) 電話の受話器はゆっくりと置く

これは五井先生がよくおっしゃっていたことです。自分の言いたい用件だけ話して、自分が先に電話を「ガチャン」と切るのは、相手に対する思いやりのない行為で、失礼です。相手の話が終わっても、相手がまだ受話器を耳にしていることを配慮し、相手の耳に衝撃を与えないように、ゆっくりと自分の受話器を置きます。相手に対する思いやりが人に好かれる要因です。

(5) 下品な話題や汚い言葉を慎む

日頃から下品な話題をしている男性は、デートの時もついそうした話題が出るようです。デートの時に競馬やマーじゃん、パチンコ、借金、人の悪口、暗い話などをするようではいけません。そのためには、日頃から上品で明るい話題を話せるようにしておくことです。女性は美しいことに敏感なので、おしゃれな音楽を聴いて、楽しい話題を話せるようにしておきます。また、声が小さ過ぎますと相手の女性に聞こえませんから、はっきりと相手に聞こえるように話すことも必要です。

(6) 性の純潔を守る

五井先生は「現在は男性が童貞を守り、女性が貞操を守っていることがまるで時代遅れのように言われ、却って不潔と言われる風潮がありますけれど、フリーセックスをすすめる大人の頭が狂っているのであって、男性も女性も純潔を守ることは正しいことだし、それは当然のことです」とおっしゃっていました。

馬鹿な大人たちの誤った観念にそそのかされて、結婚前の男女が欲望のままにセックスをするようではいけません。エイズがはやるようになったのも、そうした誤ったフリーセックスに対する警告であるのです。男性は女性を傷つけることのないように、また、女性は自分の体を傷つけないように交際してほしいです。

【男性編】 三十代後半の男性のための結婚相談

「バツイチ経験のある三十代後半の男性のための結婚相談」を書いてほしいというご要望がありましたので、その方々を対象にした結婚相談を下記にまとめました。

(1) 守護霊による結婚と業因縁による結婚がある

結婚は守護霊による結びつきと因縁による結びつきとがありまして、守護霊による結婚は平穏にゆくのですが、因縁を消すための結婚の場合には、結婚した途端に夫婦喧嘩が起きて魂の磨き合いになるのです。五井先生は「結婚に甘い夢を見てはだめ。魂の磨き合いなんだから」と度々おっしゃっていました。そう言う度に、会場に坐っているご婦人たちから笑いが起きていたものです。五井先生のそのお言葉が夫婦の大きな慰めにもなっていたのです。

(2) 何度も離婚する因縁を持った人もいる

離婚を認めない宗教がありますが、五井先生は「離婚もやむを得ない場合もある」と説かれています。今、五井先生が壇上でお話なさったことを思い出しております。

「離婚については、業想念を却って積み重ねてしまうような場合、つまり刃傷沙汰になるようになる場合は早く離婚した方がよいです。二組の仲の悪い夫婦を離婚させて、その人に相性の合う男性なり女性と新たに結婚させれば、四人みんなが幸せになるわけですか

ら、その方がいいですね」

「過去世の因縁によっては、何度も結婚と離婚を繰り返す人がいるんです。そういう人は、結婚と離婚を繰り返して離婚の因縁が消えた後に、最後によりやく本当の落ち着いた結婚ができるんです。そういう人もいます」

(3) 守護霊さまに離婚したことをお詫びする

離婚したら、自分の先祖霊（守護霊）と元妻の先祖霊（守護霊）に、心の中でいいから離婚したことを報告し、深くお詫びし、「〇〇さん（元妻）の天命が完うされますように」と祈っておきます。また、女性を騙したり泣かせたり不倫する男性を純粹で潔癖な守護霊は非常に嫌い、断固として赦しません。心当たりのある男性は、「守護霊さま、どうぞ赦して下さい」と守護霊に深くお詫びしておかなくてはなりません。

(4) 守護霊さまに、自分の善き結婚相手を探してくれるようお願いする

「守護霊さま、私の天命が完うできますように善き配偶者をお与え下さい」と守護霊に祈ります。「守護霊さま、私にふさわしい結婚相手に合わせて下さい」という祈り言でも構いません。

(5) 自分も完全ではないのだから、相手の女性にも完全を求めないこと

あなたの目の前には魅力的な女性が次々と現れてくるようになります。しかし、せっかく守護霊さんが次から次へとあなたにとってよい女性を紹介してくれたのに、相手に「完全」を求め過ぎて次から次へとふってしまい、断わってしまいますと、守護霊さんも「それならあなたが勝手に探さない」と怒ってしまい、途端にあなたの前には女性が誰も現れなくなります。自分が男として完全ではないのですから、相手の女性にも完全を求めてはいけません。完全な女性など現在のこの世に存在しないのです。完全な女性の現れることを待っていたら、一生結婚することはできません。

(6) 借金を抱えている男性と結婚する女性はいない

五百万円もの借金を抱えながら、その金を返済する計画もないのに、「結婚したい」といつもぼやいている男がいます。あわよくば「彼女に稼いでもらおう」と思っているのですが、そんな考えでは、女性は逃げてしまい、結婚できるはずがありません。このような男性は借金を返すことが先決です。経済的な基盤がなくては結婚生活が破綻するのは目に見えています。まず仕事に専念してお金を蓄えることを考えるべきです。お金に女性が寄ってくることを軽蔑してはいけません。女性は男性よりも現実的で金銭感覚に敏感なので、人並みの生活ができるほどの経済力を持たねば結婚は難しいのです。

(7) 決して人の幸福を妬んだり自暴自棄になってはいけない

他人の幸せを妬んだり他人の出世の足を引っぱったり、不平不満が昂じてやけっぱちになり、人道的にしてはならないことをしますと、高尚な守護霊は姿を消して、代わりに下品で下劣な幽界の生物が憑依してきます。この幽界の生物は不成仏霊と言って、迷った人間が幽界に行って憑依する場合と、業想念が生物のような形になって憑依する場合とがあ

ります。幽界の生物に憑依されると、下品で下卑た言動を取るようになり、悪事をするようになるのです。他人に対する妬みがなくとも、不平不満が異常に強くなると、幽界の生物（悪霊）に憑依されやすくなり、暴力をふるったり、自暴自棄になって悪事をするようになりますから、幽界の生物に憑依されないように守護霊さんへの感謝の心を忘れないことです。

（８）同じ宗教観を持つ女性は理想の相手

宗教観が一致する女性と結婚することは、どれだけ一生を充実させてくれるか計り知れません。宗教観や物事の価値観が大きく異なると、夫婦の間に亀裂が生じます。共に「世界平和の祈り」を祈ることのできる女性は理想の条件の一つを満たしている配偶者と言えます。

（９）幸運を逃さないように、守護霊さんへの感謝の祈りを毎日忘れないようにする

幸運は突然やってきます。守護霊さんがあなたに幸運をもたらしたのです。しかし、あなたが守護霊さんの方に常に想いを向けていないと、目の前に幸運があっても、あなたにふさわしい女性が現れても、手に入るべき幸運を逃してしまいます。そのためにも、守護霊さんへの感謝の祈りを毎日欠かしてはなりません。以上の基本的なことさえ守れば、今度こそあなたは幸福な結婚生活を送れます。

あなたに守護霊さまのご加護がありますように
あなたの善き配偶者が現れますように
守護霊さま、ありがとうございます。

（１０）追補

結婚相手にふさわしい女性は、既に「世界平和の祈り」を祈っている女性とは限りません。結婚したい女性に五井先生の本を渡し、「世界平和の祈り」を教えて、一緒に祈ることに同意してもらえば、その相手は理想の条件の一つ満たしたことになります。

【男性編】目の前に現れた女性について

【ご質問-1】 [お祈りをされていて目の前に現れた女性と結婚を考えるべきか]

守護霊様にお祈りされていて目の前に現れた女性ならば、ぜひ結婚を考えた方がよいですか？

【お答え-1】 [あなたが好きになれない女性と無理に結婚する必要はない]

あなたが好きにもなれない女性と無理やりに結婚する必要はありません。お見合いだけの形で過去世の因縁を消す相手もいるのですから、何が何でも目の前に現れた女性と結婚しなければならないわけではありません。しばらく交際しているうちに相手を嫌いになってしまったら、結婚しない方が自分のためでもあり、相手のためでもあります。交際してゆくうちにお互いに本当に好きになり、両家の親族も納得するようでしたら、その相手の女性と結婚したらよろしいでしょう。日頃から守護霊さまへの感謝の祈りを続けていることによって、守護霊さまが勧めて下さっている女性とあなたの好みがピタリと合って適切な判断ができるようになるのです。あなたの嫌う女性を無理やりに結婚させようとする守護霊様はいませんから、心配は要りません。

あなたにぴったりの女性とめぐりあいますように
守護霊さま、ありがとうございます。

【ご質問-2】 [最初は信仰のことを内緒にしておいた方がよいか]

縁談の話などがあつた時には、最初は信仰のことを内緒にしておいた方がよいのですか？ そして、結婚を意識し出したら信仰のことを教えた方がよいのですか？

【お答え-2】 [交際時に自分の信仰も伝えておいた方が後々うまくゆく]

正式の縁談の時には、あらかじめ写真だけでなく、ご本人の履歴書や健康診断書が交換されると思います。履歴書には先祖代々信仰している宗教を書くべきです。冠婚葬祭の時には、その家が神道なのか仏教なのかキリスト教なのか、仏教でも真言宗なのか浄土宗なのかはっきりとさせておかねばなりません。それとともに、結婚するご本人が現在信仰している宗教も明記するべきです。結婚を意識し出したら言うのではなく、交際前に伝えておくべきです。その方が先祖霊を敬うことにもなり、現在の相手の信仰を納得した上でのことなので、交際がスムーズにうまくゆくのです。相手の家の信仰が気にいらぬ、あるいは自分の家の信仰が気にいらぬという理由で破談になることもありますが、それは先祖霊がその方がよいと判断されて破談になったわけで、後で破談になるよりもよいわけです。

白光真宏会や唯一会の会員は、冠婚葬祭の形式的なことは先祖代々の宗教形式で構いません。たとえば先日他界された白光真宏会の理事長をされた瀬木庸介氏が築地本願寺で僧侶の読経の中でお葬式をあげられたように、ご本人の冠婚葬祭にはその家の代々の宗教を

尊び、白光真宏会は直接関わらないことになっております。白光真宏会は、総合宗教として、仏教、キリスト教、神道の要素を持っておりますが、それでは教祖である五井先生ご自身のご葬儀はどの形式だったかと申しますと、お香を焚かず、菊の花で飾られた神道に近い形式でした。もちろん「世界平和の祈り」の中で昇神されたのは言うまでもありません。

【ご質問-3】〔結婚前に相手に宗教の話をして話がこじれることあるのでは〕

世の中には、本人が宗教嫌い、あるいは家族が宗教嫌いといった場合もあると思います。このような場合には、五井先生の本を渡すことによって女性との関係がぎくしゃくする(時には破談する) こともあろうかと思いますが・・・

【お答え-3】〔後々自由に信仰生活をするためにも、正直に現在の信仰を伝えておく〕

人によっては、「お嫁に行きたければ白光真宏会の会員であることを隠しておかなくちゃ駄目ですよ」と、宗教を信仰していることを隠すように助言する人もおりますが、それでは、結婚した後に自由にお祈りができないことになりまして、後になって嘘つきか詐欺のように思われてしまいかねません。やはり初めからお互いの信仰を包み隠さずに伝えておくべきだと思います。相手や相手の家族が宗教嫌いだからといって、夫婦になっても自己の信仰を一生隠し通せるものでしょうか。宗教嫌いの人は同じ宗教嫌いの人と結婚すればよろしいではありませんか。五井先生の本を渡して、女性との関係がぎくしゃくして破断するかも知れないとご心配されているようですが、五井先生の本の内容のどこが間違っているのでしょうか？ 五井先生の本を渡して、なぜ嫌われ、破談の原因になるのでしょうか？ 五井先生の教えを理解できないほど霊性の低い女性(男性)と結婚して、あなたの一生は幸せなのですか？ 五井先生の本を渡すことによって愛する女性(男性)との仲が一層親密になり、両家が安心して結婚に至ることができると考えるべきではありませんか。

【ご質問-4】〔祈っていて複数の女性が現われた場合の判断基準〕

守護霊様にお祈りすることによって同時に複数の女性が目の前に現れた場合に、どの女性と結婚すればよいのか、といった判断基準はどのようにすればよろしいのですか？

【お答え-4】〔宗教観が一致し、親族の同意が得られ、あなたを真に愛してくれる人〕

これは、五井先生の『神と人間』にもありますように、「第一直感」で定めればよいのです。しかし、この第一直感というのは案外難しく、直ぐに利害損得の欲望に掻き回されて、どれが本心から来る第一直感なのか、業想念から来る第二直感なのか分からなくなってしまうものです。たとえば相手の学歴、家柄、家の大きさ、財産、はたまたどんな車に乗っているか等、表面的な外見上に目を奪われて第一直感が鈍ってしまうからです。第二直感には常に答えが甘いからです。

そこで、まず本人たち二人の宗教観が一致するかどうかを確かめた上で、両親の意見もよく聞き、両家の両親や家族の同意が得られる相手と結婚するのが一番よいということに

なります。五井先生がいらっしゃった頃は、「本人同志が好きで、両家の家族の同意が得られて、五井先生もよいと言ったら、その結婚が一番よい」と五井先生は教えて下さいましたが、現在は五井先生にそのように個人指導してもらえないので、日頃から先祖霊を敬い、守護霊さんに感謝していることによって、自然に自分にふさわしい相手にめぐり会い、迷うことなく相手を選ぶことができるようになります。自分の好みだけで一方的に相手に惚れて選ぶのではなく、あなたのことを真に愛してくれる女性（男性）と結婚した方が、結婚生活がより円満にゆくことは間違いありません。